

すもも栽培だより

《開花直前防除について》



1. 生育状況について

(山形県農業総合研究センター園芸研究所)

品種	発芽期				開花始期			
	R6	R7	R8	平年	R6	R7	R8 見込み	平年
大石早生	3/25	3/25	3/27	3/27	4/8	4/13	4/8~10	4/14

※開花始期は JA による推測値です。

2. 病害虫防除対策

～シンクイムシ対策～

〈設置目安〉平場：4月8～10日頃、山手：4月13～15日頃

散布時期	適用病害虫	薬剤名	設置本数
開花前	ナシヒメシンクイムシ スモモヒメシンクイ	ナシヒメコン	100本/10a

※園地全体に均等に（目安：樹上部：8割、下部2割）設置しましょう

【すももミツバチ導入日：4月10日～】

《ポリネーション導入前に開花前防除を終了させましょう！》

～黒斑病対策～（かかりむらなく、たっぷり散布しましょう）～

散布時期	適用病害虫	薬剤名	濃度	収穫前 使用日数	総使用 回数
開花前	黒斑病	1.IC ボルドー412	30倍	—	—

～灰星病対策～

〈散布目安〉平場：4月13～15日頃、山手：4月15～18日頃

散布時期	適用病害虫	薬剤名	濃度	収穫前 使用日数	総使用 回数
満開 3日後		1.展着剤（ハイテンパワー）	10,000倍	—	—
	灰星病	2.ロブルール水和剤	1,500倍	前日まで	3回以内

3. 人工受粉方法について【講習会でも紹介します】

1) 切り枝の設置

- ◆2～3種類の受粉樹を入れる。
- ◆水がこぼれないように口はしっかり閉める。
- ◆樹の上部へ設置
直接日差しの当たらない場所へ設置すると
袋内の水の温度が上がりにくく、花も長持ち！



2) 開葯・輸入花粉を使用した受粉作業

①輸入花粉湿潤作業



(1)

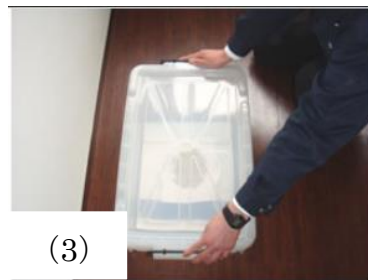
用意するもの

- ・プラスチックBOX
(衣装の収納BOXでよい)
- ・皿(大きめで平らなもの)
- ・紙
- ・タオル



(2)

- ・水で濡らし軽く絞った
タオルをBOXの底に敷く
- ・皿に紙を敷き花粉を広げる。
使用する分の花粉はなるべく平らにひろげる。



(3)

- ・BOXのふたを閉め、
花粉に湿度を与える

**冷蔵庫で
約3時間が目安**

冷蔵庫で3時間経過後
花粉は使用可能な状態です。
石松子と混合させ、
受粉作業を行いましょ！

②毛バタキを活用した受粉作業

- 〈1〉毛バタキと毛バタキが入るくらいの大きさの袋を用意。
- 〈2〉花粉と石松子(1:5)を混ぜたものを3~5g程度袋(約5a程度)へ入れる。
- 〈3〉袋の中で毛バタキに花粉が付くように振る。
- 〈4〉人工受粉同様、成らせたい品目を中心に毛バタキを行う。

③溶液受粉【動噴による散布】(500ℓ分)

- 〈1〉人肌(30~40度)程度の水1ℓを用意。
- 〈2〉砂糖:100g、寒天1gを上記水へ溶かす。
※注意:水が冷たすぎると寒天が溶けず、熱すぎると花粉の活性が落ちるため
温度に注意する。
タンクへ入れる前に水が冷めすぎると寒天が分離してしまうため注意。
- 〈3〉タンクへ入れる前にペットボトルへ花粉を投入。
よく振り混ぜたのちタンクへ入れる。
- 〈4〉タンクの中へ投入後攪拌し、動噴で散布する。
※肩掛けの噴霧器やSSでの着果効果は動噴と比較し劣るとのこと(生産者談)。
★ポイント:雌しべにかかるように、ふわっと動噴で散布する。
⇒風圧が高い場合、花卉が閉じて雌しべにかかりにくくなり、
結実率に影響。

着果量確保に向けて結実に向けた準備・管理を万全に行いましょう！

さがえ西村山農業協同組合 営農企画部 営農指導課